

5-2

松本城公園の植物・古山地御殿跡

今回は二の丸の南側についてお尋ねします。現在は松本城公園となっているところです。

1. 毎年5月初旬に現れる、ある植物の種子をとばす綿毛なのですが、その植物とは何でしょう。

①しだれ柳

柳は5月頃「柳絮」という綿毛に包まれます。松本城の場合は内堀西側に植えられたしだれ柳の柳絮が5月初旬風に乗り飛び散ります。



2 松本城松本城公園の珍しい樹木

A ①ユリノキ

・ユリノキ もくれん科 葉の形が半纏はんてんに似ていることからハンテンボクともいう。他の被子植物と同様一億年前に姿を表した。初夏チューリップに似た黄色の花を咲かせる。市立博物館から太鼓門への通路東側にある。

B ③メタセコイア

・メタセコイア スギ科 別名アケボノスギ 昭和16年三木茂博士が化石植物として発見命名。昭和20年中国四川省に現生種が発見され、25年にその苗木が日本に入ってきた。31年松本ロータリークラブ創立記念として公園西南部に植樹。現在9本が確認できる。

3 松本城公園「夫婦松」はどここの山から移されたものでしょう。(現女松は2代目)

③寿赤木山

昭和49年、松本市寿の赤木地区の共同入会山(おんたけさま)から移植された。女松は枯れてしまい現在のものは2代目である。



夫婦松は二本一緒に根回しされ運ばれ移植された。



植えられた当時の夫婦松



現在平成20年7月

4 黒門入り口近くで観光客から北アルプスの山の名を聞かれることがあります。Aは2857mの山ですが名前を漢字で書きなさい。(常念岳)

5 写真は市立博物館入り口にある江戸時代の「高札場」で現代の掲示板に当たる施設です。再三移転され現在地にありますが元々(江戸時代)はどこにあったものでしょう。

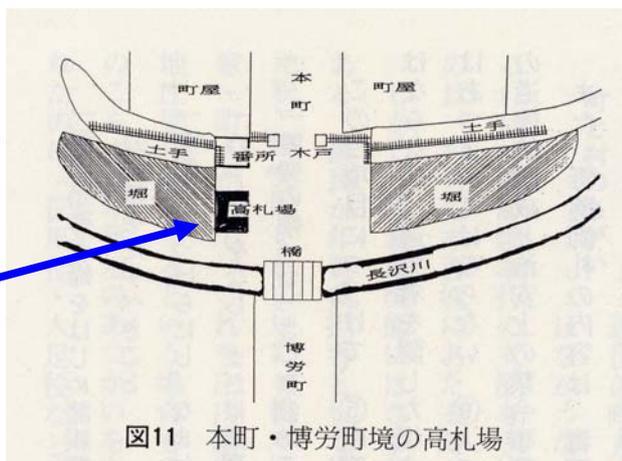


図11 本町・博労町境の高札場

③本町五丁目

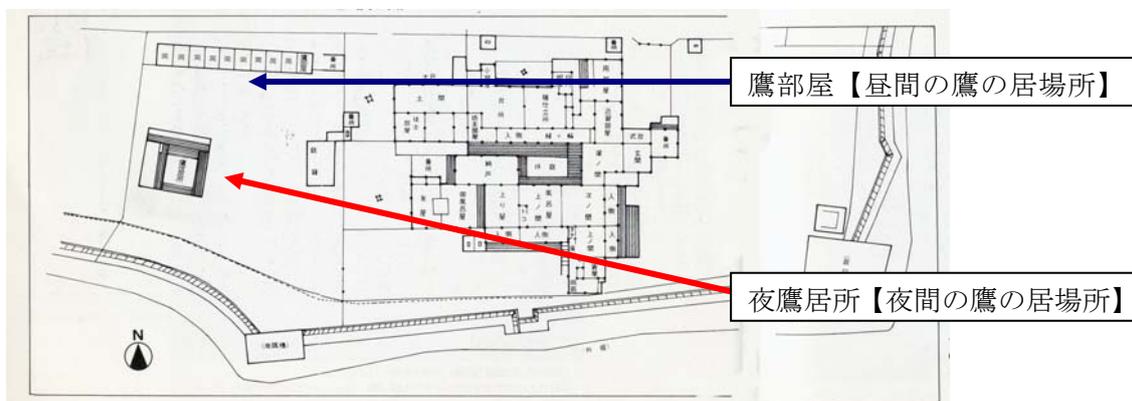
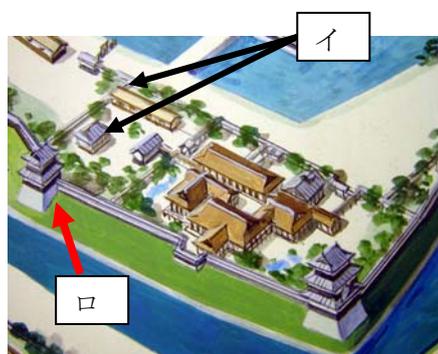
幕府の掟、法度などを記し、また重罪人の罪状を記し、高く掲げた板札をいう。

6 絵は現博物館付近にあった領主の私邸「古山地御殿」です。

イ この御殿を最初に建てたのは誰でしょう。

④石川数正

ロ イの矢印の小屋は領主が楽しみのためにある動物を飼っており、それを収容する小屋でした。その動物はなんでしょう。 ③鷹



ハ 古山地御殿の中には「ててまがりの井戸」という名水がありました。「ててまがり」とは井戸の形をあらわす言い方ですが正しいものに○をつけなさい。

② 蝸牛の殻のように渦巻きのように下っていくと水汲み口があった。「ててまがり」はカタツムリのこと。カタツムリは「デデムシ」ともいう。

ニ 右の写真の左側にわずかに写っているのが、問題6の図ロの櫓です。この櫓の名前を答えなさい。 ①南隅櫓

